

交流深めまちをきれいに

新宮市 城南校区クリーン作戦に500人

新宮市立城南中学校生徒会と城南地域共育コミュニティ本部は10日、「城南校区クリーン作戦」を実施した。城南中178人、王子ヶ浜小学校の5、6年生117人、王子幼稚園の21人、教職員、育友会、市教育委員



浮島の森を出発しごみを集める児童生徒ら＝10日、新宮市

会、地域住民ら約500人が15班に分かれ、阿須賀神社、浮島の森、下田児童館など14カ所から出発。城南中を目指しながらごみ拾いに励んだ。地域貢献の一環として毎年実施している。縦割りグループで作業し、

中学生の自覚を深め、学校と地域の連携を強める目的。以前は生徒会が「通学路クリーン作戦」として主催しており、2009年から現在の形で実施している。

城南中学生会の傳田未咲会長（3年）は作戦でまちがきれいになり、犯罪が減る、交流の場になるなど多くのメリットがあるとし、「みんなできれいで住みやすいまちにしていきたいしよう」。環境委員長の窪上珠波君（3年）は「みんな真面目に取り組んでおり、きれいになって良かった。今後も地域のことに関われば」。

同中の中田善夫校長は「笑顔で協力したクリーン作戦になった。まちがきれいになることで心もきれいになる。日頃からまちをきれいにしていきたい」とあいさつ。

地域共育コーディネーターの大石熊野さんは「毎年少しずつごみが減っている。美しい所に美しい心が宿る。大人になっても住んでいる町をきれいにしていく気持ちを持って」と呼び掛けた。

（孫入麻衣）



作戦に参加した皆さん＝10日、新宮市立城南中学校